

4月号 若者をとりにまく困難と可能性

読み合わせ学習会をしましょう！

若者と仕事、仲間、そして社会—〈つながり〉から労働組合へ

日本は非正規労働者には失業保険がでない！なので失業もできない、低賃金でも働かなければならない！アベノミクスで景気が良くなったと言われ、失業率が下がったが非正規労働者が増えただけ！若者の就労意識低下が言われるが、デートより残業派が最多に！人格否定の就活、就職しても無理に意欲を高めた末のメンタル疾患！うつが若者に急上昇！ブラック企業=単に使い捨てではなく、徹底的にトコトン頑張らせたあげく、自分は無理と自分を追い込む労働組合がもっと学生に近づくべき！生徒を組合員にできなくても、専門学校教師を労働組合が組織していくとか…

学習の友とわたし

通信労組四国支部香川分会 田井 活夫

14国民春闘の総行動が3月13日列島各地で展開されました。私たち通信労組は全国113事業所でストライキに入りました。

香川でも夜半からの雨の中、県労連、国公、自治労連、医労連、郵政ユニオン、共産党等からの支援者を含む総勢23名で、NTT香川支店前で整然とスト集会を開き、労働者を激励とともに闘うことを呼びかけました。

NTTが貯めこんだ10兆円に迫る内部留保のわずか3%を取り崩す意図さえもてば、3万円の賃上げ、非正規労働者の時間賃金を240円の引き上げ要求を実現できるのです。

スト前日の12日、NTTは「業績評価による昇給額と扶養手当の一部改善で、一人平均1600円引き上げる」とのマスコミを意識した回答を行いました。この回答は、全体の賃金の基礎部分の引き上げ（ベースアップ）ではなく、主査や課長クラスの極く一部の評価の高い人の昇給限度額が上

るだけで、そうでない一般社員、60歳超契約社員と非正規社員は実質賃上げゼロという差別を拡大するものでしかありません。これが大企業NTTの実態であり、今の日本社会の縮図です。

地域別に決められている最低賃金の最高額は東京869円で、800円台が3県、700円台が24府県、あとの20県は600円台、全国平均764円、香川県は686円、これが安倍首相が目指すという、企業が世界で一番活動しやすい国の実態です。

誰がどこで働いても時給1000円以上、それ以下で働かすことは犯罪となる。全国一律最賃制を勝ち取る闘いが本当に急がれます。そのために今こそ「学習の友」を多くの若者の手に届けましょう。45年間の友読者として心から願うものです。

あしたの風では「学習の友と私」を掲載いたします。学習の友を購読していただいている方々に、学習の友との関わりをお聞きします。これから原稿依頼がありましたら、どうぞよろしく願いいたします。

学習の友 4月号学習会

◎日時 4月15日(火)18時30分より

◎場所 学習協事務所にて

※ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

